

2021年3月5日



SLを通して地域の歴史をまなぶ 地域住民による「相原のちょっと昔の話」

ゆくのき学園大戸小学校で3月10日(水)開講

相原にぎわい創生プロジェクト※は、3月10日(水)にゆくのき学園大戸小学校3年生21名に対して、相原の歴史を学ぶ授業「相原のちょっと昔の話」を行います。

1908年の横浜線開業時からある相原駅は、開業当時の9駅の中で圧倒する貨物取扱量を誇り、SL(蒸気機関車)の石炭台や給水施設も備えた物流の中心地であったという歴史的事実があり、同プロジェクトは子ども達にその知られざる事実を知ってもらいたいと考え、また、学校は地域住民と連携し、子ども達が地域の歴史を学ぶことで自分たちが暮らす地域への愛着につながることを期待し、この授業が実現したものです。

授業では、地域に呼びかけ集めたかつてのSLの写真や地域住民が作った開業当時の相原駅の模型などを活用して、約100年前から今に至る相原の暮らしと横浜線について説明します。

また、校庭にレールを敷き、当時走っていたSL『C58』と同型のミニSLの乗車会も行います。このミニSLはもともと町田まちづくり公社のもので、本物同様に蒸気で動くものでしたが、故障に加え、整備や走行を行う技術者の不足などの問題によって走行不能となっていたものです。これを同プロジェクトが譲り受け、メンバーの元電気技術者が必要なパーツを揃えて改造し、電動駆動化しました。



電動駆動化したミニSL

※ 相原にぎわい創生プロジェクト

地域の自然を活かして『観光地づくり』に焦点を当て、地域住民や相原を訪れる人々のふれあいの機会を創出し、「商業の活性化」・「周辺のインフラ整備」・「雇用機会の拡大」など、“にぎわい創生”を目的に、2016年1月に地域住民によって設立された団体。

【相原の歴史を学ぶ授業「相原のちょっと昔の話」概要】

- 日時：3月10日(水) 午後1時25分～
- 場所：ゆくのき学園大戸小学校
- 対象：3年生21名
- 内容：講義+模型等鑑賞+乗車会
- その他：雨天の場合、翌11日に延期



かつて横浜線を走っていたSL『C58』

■ 本件に関するお問い合わせ

相原にぎわい創生プロジェクト 担当：土田

■ まちだ〇ごと大作戦に関するお問い合わせ

まちだ〇ごと大作戦実行委員会事務局(町田市政策経営部広報課) 担当：村上

TEL 042-724-4084 FAX 042-724-1171 URL <https://machida-marugoto.jp/>